

着地型ガイドツアー「金沢アート探訪」宿泊施設との連携事業 報告書

NPO法人金沢クリエイティブツーリズム推進機構

I. 2016 年度に実施したプログラム

以下のように、3つの事業方針に基づいた事業を展開した。

事業方針-1 ツアーの魅力再確認・コース設定

- 1-1 アトリエツアーの原点視察 (9月)
- 1-2 モニタリングツアーとコースの設定 (8月～12月)
- 1-3 作家との交流サロン (2月)

事業方針-2 人材育成

- 2-1 ガイド養成講座 (8月～9月 6回)

事業方針-3 ツアーの連携と情報発信

- 3-1 ホテルとの連携商品ガイドツアーの連続開催 (3月～5月 7回)
- 3-2 ガイドツアー先進事例視察と連携協議 (6月・10月)
- 3-3 ガイドツアーの告知ツール作成配布 (1月～3月)

1. ツアーの魅力再確認・コース設定

1-1 アトリエツアーの原点視察

カナダのバンクーバー西側に浮かぶ Salt Spring island を視察。この島では、studio tour が 1990 年から毎年開催されている。毎年約 30 のスタジオ（アトリエ）を公開しており、マップやホームページで情報を開示、関心のある観光客が各自スタジオを自由に巡ることができるシステムである。スタジオでは、作家との会話を楽しみながら作品を手にとって、気に入ればその場で購入できる。作家の人となりやライフスタイルに触れ、制作環境を眺めることにより、作品購入の意欲が高まることを再確認できた。



■Salt Spring island の立地環境



■ツアー協カスタジオの分布



■スタジオツアー告知ホームページ



■作品を眺めながら、制作作業について説明を聞きながら作家との会話を楽しむ

1-2 モニタリングツアーとコースの設定

スタッフ間で、ガイド情報を共有するためにひがし・浅野川界隈のモニタリングツアーを実施した。作家のアトリエ、最近リノベーションされた町家スポット、道中の見どころなどを確認し、この界隈のツアーコースを構築した。その際、映像撮影も行い、ホームページでツアーの様子を伝える資料作成に繋げた。



■アトリエやリノベーション町家等の確認作業を行った

1-3 作家との交流サロン

6人のアーティスト（出和絵理、武田雄介、指江昌克、杉田明彦、安達大悟、中田雄一）と語らうオープントーク・セッション。アーティストの普段の制作や活動から、美術と工芸が共存・共鳴しあう金沢の魅力や課題までアーティスト同士で話し合ってもらった。その後の交流会では、参加者とアーティストとの会話も生まれ、約40名の参加者にはアトリエツアーの神髄を感じてもらった。



■アーティストの作品を紹介しながらのトークセッション

2. 人材育成

2-1 ガイド養成講座

金沢 21 世紀工芸祭と連携して、ガイド養成講座を開催し、市民や学生ら 22 名が受講した。

講義内容

- 第 1 回 金沢の楽しみ方を知る ガイドブックには載らないディープな金沢の観光のすすめ
- 第 2 回 金沢の歴史・文化を学ぶ 伝説のまいどさんと浅野川開催を街歩き
- 第 3 回 観光について考える 観光学の講師から観光の基礎と応用を学ぶ
- 第 4 回 ガイドの実践を学ぶ 山田拓さんにガイディングの基礎と応用を学ぶ
- 第 5 回 ワークショップ①ツアールートをつくろう
- 第 6 回 ワークショップ②ツアールートをつくろう



■座学・街歩き・ワークショップを組み合わせたカリキュラム

金沢 21 世紀工芸祭の「KOGEI さんぽ」(10 月 13 日～16 日の 4 日間) では、養成されたガイドが 200 人 (うち 20 人外国人) の来訪客を案内し、工芸関連でのガイドの面白さを体感した。



■KOGEI さんぽオリジナルデザインのユニフォームとフラッグで来訪客を案内した

3. ツアーの連携と情報発信

3-1 ホテルとの連携商品ガイドツアーの連続開催

商業ビルをリノベーションしたホテルと連携してガイドツアー「HATCHi to アートツーリズム」を連続開催した。

- 第1回「せせらぎ浅野川ツアー」
- 第2回「美大からバーへ夕暮れコース」
- 第3回「家と寺とまちなかスタジオコース」
- 第4回「陶芸三昧！郊外編」
- 第5回「スタジオいろいろまちなかコース」
- 第6回「田舎の工房のんびり山コース」
- 第7回「スタジオいろいろちよいちや郊外コース」

2016.3.18 FR 入 - 5.29 SUN

TOUR & EXHIBITION 01

HATCHi TO

アートツーリズム



■HATCHi を出発して、市内のアトリエなどをガイドツアーし、作家との交流を楽しんだ

3-2 ガイドツアー先進事例視察と連携協議

飛騨古川の「SATOYAMA EXPERIENCE」と南青山 OVE の「散走」(いずれも自転車でのガイドツアー)を体験し、ガイドに必要なスキルとツールを確認した。さらに、特色あるガイドツアー同士のネットワーク化と相互の情報発信協力について検討を行った。



■農村風景を楽しむ SATOYAMA EXPERIENCE プログラム



■都心の路地をガイドする散歩プログラム

3-3 ガイドツアーの告知ツール作成配布

■リーフレット

ガイドツアーを告知し参加者を募集するために、リーフレットを3千部印刷し、市内の宿泊施設や協力関係にある「美ら地球」（飛騨古川）や「南青山 OVE」で配布してもらうよう依頼している。ガイドツアーは二つのコース「アトリエ探検コース」（3千円／2時間）と「まちあるき味見コース」（6千円／3時間半）を設定した。

■ホームページの改訂

金沢クリエイティブツーリズム <http://www.kanazawacreativetourism.jp>

検索しやすいドメインに変更、ツアープログラムごとに紹介し申込ページへリンク、英語も並記、映像も盛り込みツアーの様子を伝えるように改善した。

■SNSでの発信

Facebook ページでも本事業を告知・報告している

<https://www.facebook.com/KANAZAWAcretour>



■リーフレットによる情報発信



Ⅱ. 事業の成果と今後の課題

■ツアーの構成

- ・ 3 日前までの参加申し込みを受けて準備する「オーダーメイドツアー」は、「アトリエ探検コース」と「まちあるき味見コース」を設けることができた。今後は、毎週金曜日夜方出発とか、事前予約無しでも参加できるツアーを開催することにより、開催頻度を上げてガイドスタッフの常駐への筋道をつけることが求められる。
- ・ 新幹線開業を契機として、安江町や彦三などにも新たなスポットが続々と生まれてきているため、従来のひがし茶屋街や浅野川エリア以外のコース開発のために、定期的にモニタリングツアーを開催することが必要である。

■ガイドの養成

- ・ 今年度のガイド養成講座により、関心を持った市民や学生は多い。実地でのトレーニングを積み重ねることにより、有償ボランティアに繋げていかねばならない。
- ・ 金沢市は経済特区により「市内限定通訳案内士」の選考試験を行い、40 名あまりにその資格を与えた。彼らにも本事業のガイドとして活躍してもらえるように声掛けを行っていかねばならない。

■情報発信

- ・ 欧米を中心とした外国人観光客は金沢で 3～4 泊することが少なくない。そのような滞在客を受け入れている宿泊施設（ホテルやゲストハウス）にリーフレットを置いて客に手渡してもらえるように協力をお願いすることが必要である。
- ・ ガイドツアー実施団体との送客連携も図っていかねばならない。



■Facebook を通じてクリツアーを知り参加した台湾からのアートファン（金沢に 4 泊）

Ⅲ. 実施体制

本事業は、以下の 3 つの NPO 法人がそれぞれの持ち味を活かして相互に連携しながら取り組んでいる。主催する NPO スタッフ、観光ボランティアガイド、アーティスト、研究者、一般市民らで協議している。

NPO 法人 金沢クリエイティブツーリズム推進機構

事業全体の企画とマネジメント

NPO 法人 金沢アートグミ

アーティストとのコーディネート全般、オープンスタジオデーの企画

アートコンシェルジュのコーディネート

NPO 法人 趣都金澤

専門家招聘、モニタリングツアー実施

トークセッションの企画運営